

古代から続く祈りの道 - 大和の石仏巡行 -

第9回 おっさか 桜井市忍阪・石位寺の 「伝 薬師三尊石仏」



元 久留米工業高等専門学校教授
伊藤 義文

1. 地理

国道 166 号線を桜井から宇陀に向かって行くと、忍阪に差し掛かります。国道に沿うように、万葉集に詠われた忍坂山麓の古道「忍坂街道」があります。忍阪は記紀の神武東征の際に「忍坂の大室」として登場し、神武天皇がこの地にいた八十建を討つ時に神籠石（図 1）に隠れ、石垣を



図 1 忍坂街道の神籠石



図 2 石位寺

めぐらし、矢を持ち、楯にしたという伝説が残っています。

この旧街道の周辺には古い町並みが残り、日本初の八角墳で知られる舒明天皇陵や、額田王の妹（または姉）・鏡王女の墓など歴史深き場所となっています。「伝 薬師三尊石仏」は、旧街道から少し離れた高台にある石位寺（図 2）の境内に設置されたコンクリート製の収納庫（図 3）に安置されています。現在は無住寺ですが、忍阪の住民の手で大切に保存されています。

2. 歴史

国の重要文化財である石位寺「伝 薬師三尊石仏」は、白鳳時代の石彫三尊仏で、伝説では当初は忍阪からほど近い栗原寺¹⁾に在って、額田王の念持仏²⁾だったという伝承があります。栗原寺は桜井市・栗原にある古代寺院跡（図 4）で出土した三重塔露盤の伏鉢（国宝）の銘文により、天武天皇に仕えた中臣朝臣大島が草壁皇子を弔って発願し、その遺志を引き継いだ比売朝臣額田によって和銅八年（715 年）に建立されたことが分かっています。

1) 栗原寺：出土した瓦から7世紀後半の創建とみられる寺で、談山神社が所蔵する「栗原寺三重塔伏鉢」（国宝）に刻まれた銘文により、寺の由緒がはっきりしている。現在、礎石が残っており、西大門・中門・金堂・講堂を一直線に並べる西向きの伽藍配置であったと考えられている

2) 念持仏：個人が身辺に置き、私的に礼拝するための仏像。多くは像高40～50cm程度の木彫像や金銅像であり、法隆寺の「橘夫人念持仏」（国宝）は光明皇后の母・橘夫人のもので、日本最古の念持仏である



図3 石位寺収納庫（開錠中）

なお、栗原の地は5世紀半ば、中国の呉国から来た渡来人が住んでいたと言われています。また、薬師三尊石仏が額田王の念持仏だとする伝承は、前述の比売朝臣額田を額田王とする説が根拠になっています。薬師三尊は、その後現在の石位寺の庭に放置されていたのを、大正5年（1916年）に厨子に安置するようになり、現在は収納庫に収められています。



図4 栗原寺跡
おおはらでら

3. 石位寺薬師三尊石仏

石位寺薬師三尊石仏は、高さ、幅ともに1.21mの三角状のきめ細かい白肌の花崗岩に高く浮き彫りした見事な石仏です。両手を膝前に重ね、**法界定印**³⁾と呼ぶ手印を結んでいます（図5）。印相で仏名を弁別するのは難しく、この石

仏を釈迦三尊と考える方もおられるそうですが、ここでは従来から呼ばれている薬師三尊としています。

爽やかに潇洒な瞑想にふけるがごとき静かな表情は、ここを訪ねたすべての人を引きつけます。脇侍の合掌の姿にもまた、愛くるしい童顔と巧まない自然の彫刻美があります。どことなく肉付きの良い体の線、お顔の形にも衣文線にも柔らかな味が出ていて肌にしっとりつけた絹の感触を作り出しています。中尊の唇に差した紅や、右側脇侍の足の部分にも紅がわずかに残っており、**彩色像**が漆箔像であったとも言われています。仏像の裏の部分を見てみると、ノミの跡が残っています（図6）。



図5 石位寺の薬師三尊と中尊のご尊顔



図6 薬師三尊と側面のノミ跡

3) 法界定印：右手の指に左手の指をのせ、左右の親指を繋ぐ形をしたもので、悟りに入るための印



図 7 白鳳時代石仏の共通性

4. 白鳳時代石仏の共通性

白鳳時代の石仏として、今回の石位寺薬師三尊と宇陀市・向渕の飯降薬師三尊、奈良市・大和田町の瀧寺跡磨崖仏を比較してみると、次の3点について共通性が見られます。第1点は台座に跏趺して裳を垂れていること。第2点は菩薩も円光背を負っていること。第3点は天衣を肩から脇に垂らしていること（図7）。筆者の私見ではありますが、これらの共通性は、呉国からの渡来石工またはその子孫が、栗原寺の薬師三尊石仏を造像した後に、同じ人あるいはグループが飯降や瀧寺のような山間寺院の岩崖に磨崖仏を造像したものではないかと考えられます。

5. まとめ

作家の川端康成氏は石位寺の伝 薬師三尊石仏をご覧になって「ほのぼのとした暖かいものがある、美少女といっ

た感じでもあろうか」と評しています。伝承にあるように、この石仏が額田王の念持仏であったとするならば、ある時期に石位寺に移され、大衆の祈りと共に微笑の石仏となって皆様に語りかけてくれているように思えます。これが白鳳時代の石仏の魅力というものでしょうか。

なお、石位寺の薬師三尊そのもののYouTubeは、地元管理者様のご意向によりアップしないことにしましたので、ご了承ください。今回の関連動画は下記のYouTubeにアップロードしていますので、次のキーワード検索で美しい動画をご覧くださいませ幸いです。

・検索：桜井市・忍坂街道－YouTube

URL：https://studio.youtube.com/video/CxF0kwLwAtE/edit

・検索：奈良市大和田町・瀧寺磨崖仏－YouTube

URL：https://studio.youtube.com/video/PMOk3QvBbk8/edit

・検索：宇陀市室生・向渕、小原上笠間の石仏－YouTube

URL：https://studio.youtube.com/video/R-fyF5RPBV8/edit

著者略歴



1947年生まれ。72年、京都大学大学院卒業。以降、民間企業にて真空蒸着技術のフィルム応用や各種包装材料の開発に携わる。2004年、久留米工業高等専門学校教授。15年、退職。ライフワークとして石

仏調査を行い、その成果をYouTube (https://www.youtube.com/channel/UCvJiTXSHW2MoqwzdpszXcOQ) に公表している。

✉ itou910@zeus.eonet.ne.jp